

今月の4コマ

今月のうさこ

エモさってこういうこと？

某ポケットにモンスターゲームのリメイク作発売が発表されましたね。
舞台モデルが北海道なこともあって、とても思い入れのある作品です。うれしすぎる。



ゲーム内に小樽がモデルの街があり、そこに図書館があつて、その地方の神話が読めるようになっていたのです。



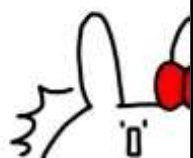
まだうさこが短パン小僧だった時代にプレイしていたので、今まで気がつかなかったのですが、

しかも図書館で働いているとは、短パン小僧時代には全く考えてもいなかったです。



その神話や街の作り、音楽などがとても好きでした。まさか大人になってから子どもの頃から大好きなゲームのモデルの地で、

そしてわたしはずっと知らず知らずのうちに聖地巡礼を果たしていたのか…！と思いました。
せっかくの聖地（仮）なので、いつかなかでできるといいな〜と思っております。



人生はゲームくらい不思議で、ゲームは人生、つまりそういうこと。

前回おはなししたパステルピンク的な話。ピンクと言っても様々なピンク色がありますよね。図書館には色見本の図書があります。ポスターを作る際には微妙な色の差で印象がガラッと変わってしまうので、よく参考にしていました。パステルピンクとチョコレート色の組み合わせがかわいいように、色の組み合わせも大事ですよ。そういったものに！参考になる図書も！もちろんあるんですよ！結局なんの話かという、色の本は見ていただけでたのしくなれるなあ、というおはなしでした。

みんな大好きポケットにモンスターのゲーム、ついに待ち望んだあの過去作品のリメイク版発売が決まりましたね！舞台が北海道をモデルにしているのは有名ですが、子どもの頃この作品をプレイしていたときは、大人になってあの街のモデルの小樽で、しかも図書館で働いているなんて考えてもいませんでした。人生なにがあるのかわからないものです。本当に。あの頃は司書という仕事も、小樽がどういった街なのかも、自分がいつか大人になるということも、そしてお肌の曲がり角に直面することも知らずにいました。肌荒れにお悩み中…。

もうあの頃には戻れないかもしれないけど、ポケットのなかみはいつだってだれだってファンタジー。です！

3階書庫はないですけど、2階郷土資料室があります。ぜひ聖地巡礼（仮）に来てください！（作品内での建物のモデルはたぶん違いますけども…。）アイヌ神話の本もありますよ～！アイヌの神話や歴史を知るときっともっとたのしめる！はず！たのしみですね～！